

厚生文教常任委員会 行政視察報告書

1 視察日程

平成30年10月29日（月） 午前10時～午前11時30分

2 視察先及び目的

視察先 : 河北町内の集中豪雨による冠水と法面崩れの主な被害箇所
目的 : 冠水等の被害場所の現地確認と対策について

3 視察者

委員長 榎 正義
副委員長 東海林信弘
委員 丹野 貞子、齋藤 隆、細矢 誓子、石垣 光洋
都市整備課 須藤 課長、大泉 課長補佐、丹野 係長
環境防災課 後藤 課長（視察後の情報交換へ出席）
議会事務局 中野 局長補佐

4 視察内容

6月30日の集中豪雨による、町内冠水箇所、法面崩れ現地確認とその対策

○県道樽石河北線 大黒屋さん付近

県道を横断している排水路の断面幅では、近年の集中豪雨を排水しきれていない。
地下埋設物など支障物（光ファイバーなど）があり、排水路の拡幅などは困難である。
上流側での対策（水量調整など）を含め検討していきたい。

○県道樽石河北線 山形クボタさん付近

排水路の流末部分断面が同一でないために、古佐川への流出が安定していない。
県はすでに調査費をつけており、早く改良工事に繋がるよう強く要望している。

○宮川はんこ屋さんと石山商店さん付近

排水路と都市下水路との流入出量のバランスを検討調査する必要がある。

○洞ノ口水門（松橋地区）

水門開閉の対応は、必要に応じて職員が実施している。



排水路の説明を受けました



復旧状況の説明を受けました。職員の皆さん、お忙しいところありがとうございました

○眺望の丘付近

法面崩れの復旧工事は業者発注済みであるが、業者の工事実施が遅れている。

今年度には工事完了の契約になっている。

5 所感

○近年の集中豪雨による冠水被害などは、想定をはるかに超えており、その都度迅速に対応を行うことが必要と感じた。

○今回のような道路の冠水、法面崩れなど町民生活に影響する場合、町は地区民への情報提供も必要ではないか。

6 まとめ

○各冠水箇所の要因分析などの調査・対策を早急に取りまとめ、優先順位を決めて解消に向け工事を実施してほしい。また、ハード面だけでなく、地域住民への説明なども行い、協力が得られる体制づくりなどソフト面の充実も図り、町民の方々が安心して生活できるように進めてもらいたい。